

## セイタカシギ（セイタカシギ科） 全長37センチ

6月19日、大浦沼近くの水田でセイタカシギが見つかった。4月1日以来の再来である。前回と同じ個体であるかは分からないが、なぜ再び大浦沼に現れたのだろうか。

普段はのどかな細長い沼地であり、餌となる小魚なども棲息しているようだ。田んぼ周辺には昆虫類も見つかっていることから、セイタカシギを惹きつけるものがあるのでしょう

暫く眺めていたが、同じ場所からほとんど動きがありません。



すらりと伸びた細長い脚。8頭身美人のよう。

やっと歩き出し餌を探し始めた。たがどこかぎこちない動きで、左脚をまともに地面につけることが出来ません。レンズを最大に拡大して眺めると、左脚の跗蹠（ふしよ）部が腫れ上がり、釣り糸が絡まっているのではないかと。しかも、釣り針まで。なんという事だ。

全国から釣り人が集まるほどの有名な大浦沼である。切れてしまった糸を回収せずそのまま放置したところ、セイタカシギが絡まったのではないだろうか。人間の不注意行動が、自然環境をかき乱していることは間違いありません。あまりにも痛々しく、直ぐにでも保護してあげたいが飛ぶことが出来るので、眺めているしかありません。



脚が痛いのか、畦道に坐り込んだ。



脚が腫れ上がり、釣り針がぶら下がっている。

餌が採れて飛べるのでなんとか生き延びることが出来るでしょうが、心配なので毎日出かけて様子を見ることにした。

沼の周辺数百メートル以内の範囲で、余り遠くへは移動しないことが分かった。

そして、7月2日にはいくら探しても姿が見えません。きっと元気になって別の場所を目指し移動した事でしょう。



勢いよく飛び上がった。



餌を探していたが、昆虫のようなものを飲み込んだ。